

事業コード	H20-建-新-10		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	道路改築事業(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(一)あきた北空港西線		担当課長名	小嶋 宣英
箇所名	北秋田市 小ヶ田		担当者名	主幹(兼)班長 遠田 久雄
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県道改良率

## 1. 事業の概要

事業期間	H21 ~ H27 (7年)		総事業費	25.0億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長L = 1,060m、幅員W = 6.5(9.5)m、(1.50-3.25-3.25-1.50)						
事業の立案に至る背景	<p>本路線は、大館能代空港(あきた北空港)へのアクセス道路として、また、一般国道7号と一般国道105号・285号を短絡する重要な路線である。</p> <p>平成20年代後半には現在工事中の鷹巣大館道路(日本海沿岸東北道)のあきた北空港ICの供用が予定されており、当路線は高速ICへのアクセス道路として、また、高速ネットワークの一部を形成する路線として一般国道7号を代替える重要な位置付けになる。</p> <p>このことから、鷹巣大館道路と併せて一体供用させるために新規箇所として要望するものである。(H17センサス2,695台/日&lt;計画交通量8,000台/日)</p>						
事業目的	<p>線形不良区間の解消(Rmin=30m、Imax=6%)</p> <p>平面交差踏切の立体化(秋田内陸縦貫鉄道)</p> <p>高速IC、空港アクセスの改善(あきた北空港IC、あきた北空港)</p> <p>高速ネットワークの形成(日本海沿岸東北道)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度以降
	事業費		2,500,000	80,000	130,000	500,000	1,790,000
	経費内訳	工事費	2,110,000			480,000	1,630,000
		用補費	120,000		120,000		
		その他	270,000	80,000	10,000	20,000	160,000
	財源内訳	国庫補助	1,750,000	56,000	91,000	350,000	1,253,000
		県 債	337,500	10,000	17,000	67,000	243,500
その他							
一般財源	412,500	14,000	22,000	83,000	293,500		
事業内容			調査・設計	用地補償	改良工	改良工 舗装工	
調査経緯	平成11年度 橋梁予備設計、道路詳細設計						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画における「高速交通ネットワークの整備」、「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」、「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」						
関連プロジェクト等	鷹巣大館道路(日本海沿岸東北道)						
事業を取り巻く情勢の変化	鷹巣大館道路(日本海沿岸東北道)のあきた北空港IC供用開始(平成20年代後半) 伊勢堂岱遺跡及び大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産の国内候補地となる「暫定リスト」入り。(H20.9.26文化審議会)						
事業効率把握の手法	指 標 名	県道改良率					
	指 標 式	改良率(改良済延長/実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	69 %		データ等の出典	あきた21総合計画H19		
	達成値 b	70 %					
達成率 b/a	101 %		把握の時期	平成20年 4月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	高速交通拠点を連結するとともに、一般国道7号を補完する道路として重要である。	23点
緊 急 性	平成20年代後半に予定されている鷹巣大館道路(日本海沿岸東北道)のあきた北空港IC供用開始に併せて、当工区を供用させる必要がある。	20点
有 効 性	第一次緊急輸送道路であり、災害や救急医療施設アクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。 あきた北空港や鷹巣大館道路(日本海沿岸東北道)の高速ICへのアクセス道路として重要である。	15点
効 率 性	事業の費用便益費は2.5であり高い便益となっている。 ・総費用の現在価値 20.7億円 ・総便益の現在価値 51.4億円 計画交通量は8,000台/日となっている。(現況交通量に国道7号からの転換交通量を考慮した交通量8,400~8,500台/日)	20点
熟 度	日本海沿岸東北道の整備促進要望と併せて、北秋田市(旧鷹巣町)から改良要望が出されている。	10点
判 定	ランク ( ) 「必要性」や「効率性」が特に高い点数となっており、国直轄事業(鷹巣大館道路)と一体として供用開始させる必要があることから、事業箇所としての優先度・重要度は高く、事業を実施すべきと考える。	88点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	本路線は、平成20年代後半に供用予定の日沿道(小坂JCT~あきた北空港IC間)と国道7号を結ぶアクセス道として重要な路線である。当該区間には踏切や急カーブ等があり、安全確保や高速ネットワークの形成上大きな支障となるため、本事業の実施は妥当である。ただし、用地買収前にルート上の遺跡調査を十分に行い、事業に手戻りが生じないようにすること。

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、日沿道のアクセス道路として、高速ネットワークの一部を形成するものであるが、交通量が増加するのは、あきた北空港ICの供用開始から日沿道が接続するまでの一定期間のみであることから、25億円をかけて整備する事業効果には疑問がある。 改良については現道の拡幅、踏切改良等に対応すべきである。

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	日沿道と国道7号を結ぶアクセス道として重要な路線であり、高速ネットワークの早期形成の観点から、事業の実施は妥当である。なお、実施にあたっては、文化財等の取扱いに十分な配慮を行うよう努めること。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、文化財保護法に基づき文化庁等と調整を十分に行うとともに、コスト縮減に努める。
---------------------------------------------------------------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H20-建-新-10 )

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (北秋田市 小ヶ田 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	道路の現状の問題						
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	17	17	2次改築事業については該当しない		
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	12				
	・最小半径 < 100m	1箇所	7				
	・最急勾配 > 5%						
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0				
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18			6	2次改築は配点36点 2次改築は配点28点 2次改築は配点20点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	14				
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	10				
	・現道の事故率 50件	2件該当	6				
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3					
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0					
計		35	23				
緊急性	道路をとりまく環境等						
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5			
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3				
	・地域振興プロジェクト						
	・ほ場整備等の他事業	該当なし	0				
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5			
	位置づけなし	0					
特有の課題の有無	あり	10	10				
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0					
計		20	20				
有効性	道路の位置づけ						
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	8			
		第2次輸送路	7				
		第3次輸送路	6				
		指定なし	0				
	秋田21総合計画	2施策以上該当	7	7			
	1施策該当	5					
	該当なし	0					
計		15	15				
効率性	事業の投資効果等						
	費用便益比(B/C)	1.0以上	10	10			
		1.0未満	0				
	計画交通量	5,000台/日以上	10	10			
		1,000台/日以上?5,000台日/未満	5				
	1,000台/日未満	0					
計		20	20				
熟度	地元の状況						
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4			
		口頭要望あり	2				
		要望なし	0				
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3			
		用地反対	0				
地元への方針説明	あり	3	3				
	なし	0					
計		10	10				
合計			100	88			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		